

会議結果報告書

平成29年6月16日

会議の名称	志木市文化財保護審議会
開催日時	平成29年5月31日(火) 午後3時30分～5時30分
開催場所	志木市役所 2階 201会議室
出席委員	井上國夫委員、高橋豊委員、深瀬克委員、上野守嘉委員 新田泰男委員 (計 5人)
欠席委員	なし (計 人)
説明員職氏名	生涯学習課 小日向課長、武井主査、徳留主任、大久保主任 郷土資料館の会星野会長 (計 4人)
議 題	(1) 平成28年度文化財保護関係事業報告について (2) 平成29年度文化財保護関係事業計画について (3) その他
結 果	(1) について審議した結果、継続的に保護をすすめることとした。 (2) について審議した結果、承認された。 (3) について周知した。 (傍聴者 0人)
事務局職員	生涯学習課 小日向課長、武井主査、徳留主任、大久保主任

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 あいさつ

4 議事

（1）平成28年度文化財保護関係事業報告について

〈説明員〉

平成28年度文化財保護関係事業について資料により説明。

〈質疑応答等〉

委員）文化財保存事業費補助金交付について、交付実績額はいくらか。

事務局）田子山富士塚保存修理事業として田子山富士保存会に3,217千円、文化財管理費補助として羽根倉富士嶽維持管理保存会20千円、田子山富士保存会30千円交付した。

会長）平成28年度に実施した文化財関連事業として、本町通りの大阪屋前にあった道路元標を移動したことも挙げられると思う。

事務局）当該道路元標については、平成29年1月に大阪屋前から川口信用金庫前に移転している。

（2）平成29年度文化財保護関係事業計画について

〈説明員〉

平成29年度文化財保護関係事業計画について資料により説明。

〈質疑応答等〉

委員）市民等から志木市に関する古文書の寄付の申し出などもあると思うが、保管スペース、人員等を含めた市の受入体制はあるのか。

事務局）保管スペースに余裕はなく、古文書を扱う専門職員も在籍していない。

委員）そういった体制について、文化財保護審議会として市や教育委員会に具体的な形で要望する必要があるのではないか。

会長）市庁舎の建替工事も控えていること、郷土資料館が老朽化していることも併せて考えていく必要があるだろう。また改めて場を設け、古文書等の保存・管理・活用の体制について検討していきたいと思う。

委員）ところで、事業計画の中では記載がないが、今後指定すべき文化財についての検討は実施しないのか。以前提示された指定候補の一覧については、常に

意識しておきたい。

事務局) 会議資料として常に提示するようにする。

委員) 事業計画にもあるが、文化財説明板等修繕の中で、以前は設置されていた中ノ水車の看板の再設置を検討してもらいたい。

事務局) 看板自体は以前設置していたものを保管している。他の文化財看板の修繕計画や土地所有者の了解等を鑑みて検討する。

会長) 富士吉田市との交流のきっかけにもなった日行星山碑についても案内看板の設置を検討してもらいたい。

事務局) 日行星山碑の案内看板については現在検討中である。

(4) その他

○ 文化庁発行冊子「未来に伝えよう文化財～文化財行政のあらまし～」説明

会長) 新たに委員となった方もいるので、事務局に配布してもらった。これを読むと文化庁が文化財をどうとらえているかがわかりやすく示されている。参考にしてもらいたい。

4 報告事項

5 閉会